

令和6年度 学校経営計画書

学校番号	1	学 校 名	静岡県立下田高等学校（全）	校 長 名	山崎 文則
------	---	-------	---------------	-------	-------

1 スクール・ミッション

賀茂地域における高校教育の伝統的拠点校として、知・徳・体の人間教育と地域連携による課題解決型学習を通して、将来の日本や地域を支え、導いていく人材の育成を目指す。

2 目指す学校像

(1) スクール・ポリシー

グラデュエーション・ポリシー ＜身に付けたい力＞	カリキュラム・ポリシー ＜目指す学び＞	アドミッション・ポリシー ＜望む生徒像＞
～下高生3つの力～ (1) 自己決定力：広い知識と思考力を身に付け、自ら決定できる力 (2) 自走力：主体的に判断し、積極的に行動できる力 (3) 人間力：至誠（誠実性・公平性） 雄飛（国際性・創造性） 献身（協調性・社会性）	(1) 柔軟な選択科目と工夫された授業による、多様な進路実現 (2) 探究活動による、実践的・主体的な学び (3) 学習にも部活動にも積極的に取り組む文武両道	(1) 高い志を持ち、向上心を持って真摯に学習に取り組む生徒 (2) 部活動、生徒会活動、学校行事などに積極的に取り組む生徒 (3) 社会に貢献する意欲を持ち、次世代のリーダーを目指す生徒

(2) スクール・ポリシー具現化の柱

ア すべてのに優先する安心安全な学校づくり

(ア) 事故、トラブルのない学校づくり

(イ) 防災体制の充実

イ グローカルで活躍できる人材の育成

(ア) 個々の進路希望にあった丁寧な進路指導

(イ) 生徒の学力向上に向けた授業改善の実践

ウ 主体的、能動的に学ぶ力の育成

(ア) 自ら考え、実行できる生徒の育成

(イ) 社会で活躍できる人間力の育成

エ 学校の組織力を高めるとともに、教職員の資質向上の推進

(ア) 失敗や改革を恐れない積極的な組織の確立

(イ) 実効性のある教職員研修の推進

(ウ) 特別支援教育・人権教育の推進と心理的安全性に配慮した授業実践

オ 学校魅力化・活性化のための開かれた学校

(ア) 積極的な地域連携

(イ) 積極的な広報活動

カ 業務改善と働きやすい職場の構築

(ア) 精選と改善に向けた業務の記録化

(イ) 協力体制の強化と負担軽減

キ 教育目標達成のための適切な財務執行

(ア) 事案に応じた計画的な準備と経費の執行を図る

様式第 1 号

3 本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）

	取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標	担当部署
ア	すべてに優先する安心 安全な学校づくり	(ア) 事故、トラブルのない 学校づくり	生徒データ等を含む情報データにおいて、情報漏洩等のトラブル防止に加えて、利便性の高い情報システムの構築を行う。	教務
			安全に関する教育（ネットワーク犯罪、薬物、盗難等）の徹底・薬物講座、防犯教室を年 1 回実施。	生徒
			学期ごとの環境整備活動の円滑な実施と、生徒の心身強化のサポートを相談室等の活動を通じて行い、安心して学校生活が送れる環境づくりを行う。	保健
		(イ) 防災体制の充実	防災意識を高める講座の計画と実施。実際の災害を想定した防災訓練の計画と実施。地域防災訓練参加率 70% を目標とする。	総務
イ	グローバルで活躍できる 人材の育成	(ア) 個々の進路希望にあった丁寧な進路指導	育成を目指す資質・能力を明確にし、キャリア教育の視点を持って、3年間を見通した体系的な進路指導を構築する（総合探究と特別活動の視点で）。	進路
			理数科生徒の各種研修や実験教室による、グローバルで活躍するための進路明確化支援。生徒の満足度 5 段階評価で平均 4.0 以上。	理数科
			生徒が海外で研修する機会を 3 件以上提供する。次回、NY 研修に向けての計画をすすめる。	国際交流委員会
		(イ) 生徒の学力向上に向けた授業改善の実践	主体的な学びに有効な ICT 機器の整備と、研修等を通してそれを多くの教員が有効に活用できる。	教務
ウ	主体的、能動的に学ぶ 力の育成	(ア) 自ら考え、実行できる 生徒の育成	主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度を培うキャリア体験活動の機会を設ける（地域連携によるリアルな活動とオンライン活用）。	進路
			新設された 2 年生文系特進クラスにおいて、特進クラスの特徴となるプログラムとして、裁判所見学、こども園、小学校、中学校における英語教室、下田市議会の見学など実施する。	2 年部
			理数探究の充実による自ら考え、実行できる生徒の育成。生徒の満足度 5 段階評価で平均 4.0 以上。	理数科

様式第1号

		(イ) 社会で活躍できる人間力の育成	総合的な探究の時間を通して、課題を発見し解決するための知識、技能を身につけるとともに、よりよい社会を実現しようとする態度を養う。	総探推進室
エ	学校の組織力を高めるとともに、教職員の資質向上の推進	(ア) 失敗や改革を恐れない積極的な組織の確立	学校運営や業務の在り方について、必要があれば改善のために提案・提言しようとしている教職員が85%以上。	あり方委員会
		(イ) 実効性のある教職員研修の推進	学力向上、授業力向上のための提案を行う。それを目標とした研修会等を行う。	教務
			「進路シラバス」・進路検討会・「高校生のための学びの基礎診断」などを活用し、進路指導体制の理解を深める。	進路
		(ウ) 特別支援教育・人権教育の推進と心理的安全性に配慮した授業実践	人権教育全体計画、年間指導計画に従い社会の多様性を理解するこころの豊かな生徒を育てる。コンプライアンス研修を踏まえ、学校内での人権に関わる諸事案の情報を共有し、全職員の人権意識が向上する。校内研修計画に沿い、特別支援教育等についての知識理解を深め、多様な生徒に対し適切な対応をとるための資質向上がなされる。	教務
オ	学校魅力化・活性化のための開かれた学校	(ア) 積極的な地域連携	地域連携を通じて、生徒の未見の可能性を耕し、学びに向かう力の向上を図るとともに、校外での学びを学校内での学びと有機的につなげる。	地域連携推進室
		(イ) 積極的な広報活動	ホームページや学校案内、Instagramを活用して学校の行事イベント・魅力を発信する。	広報戦略室
カ	業務改善と働きやすい職場の構築	(ア) 精選と改善に向けた業務の記録化	共有ファイルを用いて、各担当が業務の反省や改善点等を記録することで、業務を精選し、次年度への引継ぎが潤滑に行われる。	教務
		(イ) 協力体制の強化と負担軽減	(学校全体として) 組織的な運営や業務遂行ができていると回答する教職員が85%以上。	あり方委員会
キ	教育目標達成のための適切な財務執行	(ア) 事案に応じた計画的な準備と経費の執行を図る	・業務改善提案実践3件以上。 ・内部統制制度「リスク有り」業務についての発生ミス0件。 ・複数年の課題解消1件以上。	事務

(記入上の留意点)

具体的な重点項目が外部の方にもわかりやすいよう、工夫して記載すること。